

N03 福祉・子ども・高齢者

子ども・高齢者の交流できる“居場所づくり”の提案

現在、行政からの居場所として子どもには「こども文化センター」、「わくわくプラザ」、先日開館したばかりの高津区の施設（「子ども夢パーク」）等があげられ、また、高齢者には「老人いこいの家」等があります。どちらも割と目立たないところにひっそりと...という所が多く、老朽化して暗い玄関が...というイメージを抱いてしまいます。

大きなイベントも子ども会、老人会連合会が各々行い全く交流が図られていません。本来1つの家族の中に子ども老人もいるのが当たり前だった筈です。別々に対応するから一見明瞭そうで実は大変なのではないでしょうか？むしろ一緒に過ごす事の出来る施設（従来の施設で人の出入りが少ないところも多い筈）を改修したり、また、改めて施設を作らず例として多摩川河川敷や里山、健康の森等を利用したイベントや居場所を確保した方が子どもの感性と高齢者の知恵、経験を伸ばすことが出来るのではと考えます。